

「米買えず」ひとり親5割超

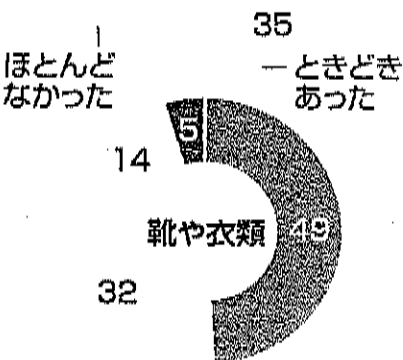
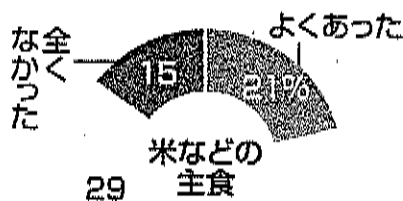
物価高が直撃 支援団体調査

子育てをしているひとり親に物価高騰の影響を尋ねたところ、米などの主食を買えない経験があった人が半分以上いたことが、全国の一ひとり親家庭を支援する団体でつくる「シングルマザーサポート団体全国協議会」の調査で分かった。

調査は十月、協議会所属の団体が支援しているひとり親約二千八百人を対象にインターネットで実施。八月九月の状況を尋ねた。米などの主食を買えないことが「よくあった」と答えた人は21%、「ときどきあった」は35%だった。肉

や魚を買えないことがあった人は76%、靴や衣類では81%だった。出費を抑えるための対応を複数回答で尋ねると、「大人の食事の量や回数を減らした」が62%だった。子どもの靴が小さくなったも我慢させている人も22%に上り、「新型コロナウイルス禍で給料が半分近く減り、その上物価高になり大

8～9月に必要なものを買えなかった状況



※シングルマザーサポート団体全国協議会調べ

打撃「小学校の子どもの体重が減ってきている」と訴える声もあった。協議会の赤石千衣子代表は「このままでは親や子どもの心身の健康が悪化して

しまう。国がこれまで実施してきたようなひとり親世帯らへの給付金支給に加え、継続的な支援や教育費の自己負担の軽減が必要だ」と話した。